

平成 29 年度一般会計歳入歳出決算概要書

平成 30 年 6 月 22 日
日本赤十字社群馬県支部

平成 29 年度の収入総額は、608,483,858 円（前年度比 8.6%増）、支出総額は 583,664,315 円（前年度比 8.7%増）で、差引残額 24,819,543 円は、翌年度第 1 四半期の運転資金等として繰り越した。

I 歳入	608,483,858 円
1 社資収入	445,810,114 円（前年度比 5.8%の減）
使途指定寄付金（前橋赤十字病院建設資金）、個人住民税控除海外救援金除く	307,002,309 円（前年度比 2.8%の増）
(1) 一般社資収入	333,525,118 円（前年度比 9.3%の減）
使途指定寄付金（前橋赤十字病院建設資金）、個人住民税控除海外救援金除く	260,192,713 円（前年度比 4.8%の増）
(2) 法人社資収入	112,284,996 円（前年度比 6.6%の増）
使途指定寄付金（前橋赤十字病院建設資金）除く	46,809,596 円（前年度比 6.7%の減）
使途指定寄付金（前橋赤十字病院建設資金）、個人住民税控除海外救援金を除いた社資実績は、	
厳しい経済情勢の中、前年度比 2.8%の増、当初予算額 305,007,000 円に対して 100.6%の実績	
となった。	
2 委託金等収入	7,064,889 円
(1) 災害等補償収入	
・ 上信越自動車道多重衝突事故 DMAT 派遣に要した経費 【群馬県】	216,669 円
・ 軽井沢スキーバス転落事故 DMAT 派遣に要した経費 【群馬県】	151,700 円
・ 熊本地震 DMAT 派遣に要した経費 【群馬県】	2,186,918 円
・ 熊本地震における救護活動に要した経費 【熊本県】	4,509,602 円
3 補助金及び交付金収入	13,677,631 円
(1) 施設整備交付金収入	
・ 使途指定寄付金（前橋赤十字病院建設）による本社送納金	13,677,631 円
4 繰入金収入	112,880,000 円
(1) 資金繰入金収入	112,880,000 円
・ 災害等資金の繰入	
事業活動資金（救護業務管理費、装備費）	8,000,000 円
・ 国際救護活動資金の繰入	
フィリピン保健医療支援事業費	1,000,000 円
ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業費	1,000,000 円
支部国際活動基金（個人住民税控除適用海外救援金）の繰入	
2017 年南アジア水害救援金	45,000 円

・施設整備準備資金の繰入		
前橋赤十字病院建設資金への交付金		100,000,000 円
・特別退職金積立留保金の繰入		
特別退職金支出		2,835,000 円
5 雑収入	5,794,190 円	
預金利子収入及び救急法等講習教材費代金、救急法等共催団体負担金、青少年赤十字等行事参加負担金、臨時救護謝礼等		
6 前年度繰越金	23,257,034 円	

Ⅱ 歳 出	583,664,315 円
1 災害救護事業費	42,526,821 円
(1) 災害救護指導事業費	16,558,666 円
ア 人件費 (2名)	13,728,435 円
イ 事業費	2,830,231 円
	草津白根山噴火災害にかかる救護班派遣経費及び臨時救護派遣経費 713,758 円、防災ボランティアの研修及び訓練、救護班要員研修等の開催経費、群馬県、高崎市ほか総合防災訓練、群馬県災害医療研修等への救護班要員派遣経費 2,116,473 円
(2) 災害救護装備費	19,251,547 円
	法人指定事業社資充当による地区分区の災害救援車及び救護資材倉庫の整備、災害救援車の車検等法定点検整備費、業務用無線局の保守点検料、災害専用携帯電話等の管理諸費
(3) 非常災害救援物資整備費	761,400 円
	非常災害に備えた備蓄物資 (タオルケット・バスタオルセット) の整備
(4) 救護看護師指導養成費	5,955,208 円
	日本赤十字看護大学・看護専門学校、その他の看護学生に対する奨学金 (26 名分) 及び日本赤十字看護大学生募集活動費
2 社会活動費	47,990,837 円
(1) 救急法等普及費	17,057,505 円
ア 人件費 (3名)	10,944,417 円
イ 事業費	6,113,088 円
	救急法、水上安全法、雪上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法の各講習、指導員対象の研修会開催等経費のほか講習教材 (講習教本、資材等) の整備費等
(2) 奉仕団活動費	5,581,291 円
ア 人件費 (1名)	3,843,712 円
イ 事業費	1,737,579 円
	奉仕団支部委員会等諸会議の開催経費、青年赤十字奉仕団、青少年赤十字賛助奉仕団、前橋・原町赤十字病院奉仕団、モデル奉仕団の活動費助成金等 1,398,070 円及びボランティア関係研修会開催経費等 339,509 円
(3) 青少年赤十字活動費	19,716,498 円
ア 人件費 (2名)	7,859,979 円
イ 事業費	11,856,519 円
	指導者講習会、校長等対象研修会、指導主事連絡会議等の開催、県・地区指導者協議会、地区連絡協議会、実践推進校への活動費補助金のほか指導資料、機関誌の作成費、新加盟メンバー用バッジの購入経費等 7,174,985 円、及び小・中・高等学校トレーニングセンター等の開催経費 2,904,487 円、北関東三県支部国際交流派遣事業シンガポール派遣参加経費、1,777,047 円
(4) 血液事業費	5,635,543 円
ア 人件費 (1名)	5,285,824 円
イ 事業費	349,719 円
	献血功労者表彰式及び「はたちの献血」キャンペーン等開催並びに諸会議等参加経費

- 3 国際活動費 2,572,400 円
 個人住民税控除適用海外救援金(2017年南アジア水害救援金)45,000円、国際人道法セミナー参加費 24,120円、茨城・栃木・群馬・埼玉の四県支部が共同で実施した「フィリピン保健医療支援事業」の分担金 1,000,000円、「ミャンマー赤十字社救急法普及支援事業」の分担金 1,000,000円、北関東四県支部ミャンマー赤十字社派遣事業経費 503,280円
- 4 指定事業地方振興費 19,037,736 円
 個人指定事業社資充当による支部・施設災害救護資材、非常食等 2,992,736円、前橋赤十字病院へのドクターカー配備 15,000,000円、個人住民税控除適用海外救援金(2017年南アジア水害救援金)45,000円、社資募集用資材作成費 1,000,000円、
- 5 地区区分交付金支出 45,066,181 円
 地区区分における社員管理、社資募集の事務費 24,777,386円及び社旨普及のための事業費 20,288,795円
- 6 社業振興費 40,445,291 円
 (1) 社業振興費 25,955,857 円
 ア 人件費(2名) 14,450,624 円
 イ 事業費 11,505,233 円
 社資関係功労者表彰式開催費、有功章等の表彰物件、シール門標等の調達費、社資募集関係旅費、地区区分担当者研修会開催経費、毎戸配布用ちらし「赤十字ぐんま」等資料の作成、ダイレクトメール実施経費、社資領収書等社資募集用資材作成整備費、社資募集関係通信費等諸経費
- (2) 広報活動費 14,489,434 円
 ア 人件費(1名) 6,629,150 円
 イ 事業費 7,860,284 円
 ラジオ・新聞等広報宣伝費、県内小学生を対象に配布した「広告入り花の種子」の整備等赤十字社員増強運動月間関係資材費、ポスター・ノベルティー等購入費、ホームページ管理運営費、広報関係会議参加等諸経費
- 7 基盤整備交付金・補助金支出 238,762,805 円
 使途指定寄付金(前橋赤十字病院建設資金)として 138,762,805 円
 前橋赤十字病院建設資金交付金として 100,000,000 円
- 8 積立金支出 8,908,374 円
 職員退職給与資金の積立 8,908,374 円
- 9 総務管理費 69,487,927 円
 (1) 評議員会等諸費 318,928 円
 評議員会、監査委員監査等の開催経費

(2) 総務管理費 69,168,999 円

ア 人件費 (5名) 35,610,564 円

イ 総務管理費 33,558,435 円

総務関係諸会議等旅費、備品消耗品費、光熱水費、通信運搬費、印刷費等の需用費 11,126,536 円及び公認会計士による予備監査費用、職員の福利厚生費、職員採用試験、支部施設職員研修会開催費等総合管理的経費 4,547,526 円並びに職員の労働保険料、健康保険料等の事業主負担金、消費税分担金等 17,884,373 円

1 0 資産取得及び資産管理費 6,050,087 円

社屋修繕費 753,000 円、損害填補資金特別会計積立金 17,949 円、設備費 1,998,541 円、備品費 39,814 円、社屋清掃委託及び設備保守点検料等 3,240,783 円

1 1 本社送納金支出 62,815,856 円

本社が実施する全国的規模の事業、国際救援活動等の事業費用に充当するための資金として社資実績 (指定事業社資を除く。) の 15%を送納